

令和3年度決算報告

令和3年度一般会計と特別会計決算が、9月議会定例会で認定されましたのでお知らせします。決算は、1年間に町に「入ったお金」と「使ったお金」を数字で表したものです。皆さんが納めた税金や国・県からの補助金は、コロナ対策を始め、道路などの生活基盤の整備や、福祉の充実を図るなど、魅力あるまちづくりのために使われています。

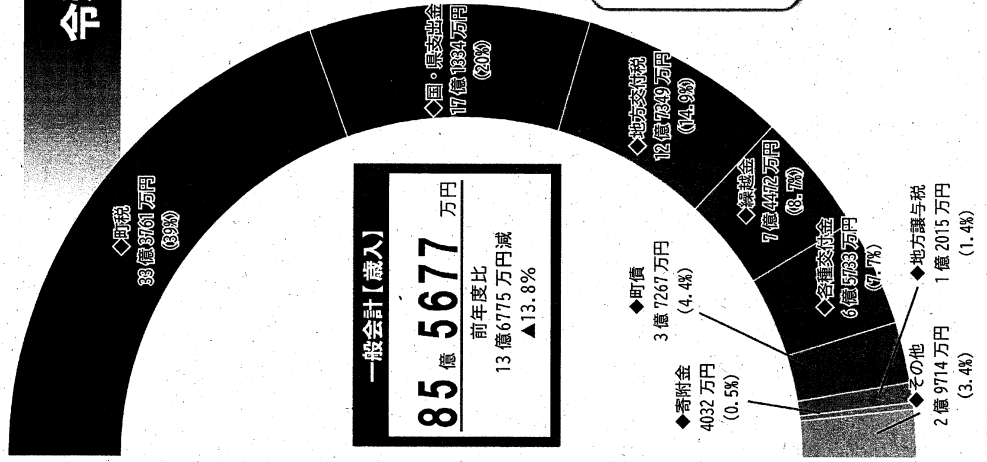
一般会計歳入 (入ったお金)

歳入は、町にどこから、いくらかお金が入ったかを表すものです。令和3年度一般会計決算額は、前年度と比較し13億6775万円(13.8%)減の85億5677万円となりました。

「1年で歳入が13億円以上減るなんて、大丈夫なの!？」と思われたかもしれませんが、令和2年度は、新型コロナウイルス対策の1人一律10万円給付を実施したため、国から町へ「使いみちが決められたお金」が歳入として入ってきたので例年に比べて高額だったのです。



- 【町税】町民税、固定資産税、軽自動車税、町たばこ税といった税金のことです。
- 【地方交付税】全国一律の行政サービスを行えるようにするために、国から交付されるお金のことです。
- 【地方譲与税】国が徴収した税金を、一定の基準に基づき市町村に譲与するお金です。



KEY WORD

- 一般会計歳入を読み解く力となる用語
- 【国庫支出金】法令で決まっている事務や国と協力して行う事業などに対して、国から交付されるお金のことです。
- 【県支出金】特定の事務や事業に必要な財源として、県が町に交付するお金のことです。
- 【繰越金】決算でお金が余った場合に、翌年度の財源として繰り越すお金のことです。

特別会計

特別会計は、一般会計と区分して特別な事業を行う場合などに設けることができる会計です。町では3つの特別会計と公営企業(水道事業、下水道事業)会計を設置しています。

会計名	歳入	歳出	差引額
特別会計	24億2548万円	23億205万円	1億2343万円
国民健康保険	18億4335万円	17億9812万円	5623万円
介護保険	2億4408万円	2億4191万円	216万円
後期高齢者医療	4億4805万円	4億4737万円	68万円
収益的収支	1億1302万円	2億3291万円	△1億1989万円
資本的収支	4億9615万円	4億5145万円	4470万円
企業会計	6億4615万円	7億8852万円	△1億4238万円
(下水道事業)			

※企業会計の資本的収支の不足額は内部留保資金などで補てんしました。

一般会計歳出 (使ったお金)

歳出は、町がどんなことにいくらかお金を使ったかを表すものです。令和3年度一般会計決算額は、前年度と比較して12億6046万円(13.7%)減の79億1964万円となりました。

主な歳出

- 【民生費】児童者・高齢者の福祉や子育て支援などのための経費
- 【総務費】諸計画の推進、電算システムの管理、一般的な事務運営のための経費
- 【教育費】教育施設の修繕費用を含む、学校教育・生涯学習などにかかる経費

令和3年度に実施した「新型コロナウイルス感染症対策事業」の一部をお知らせします。

- 「子育て世帯等特別支援事業」2億3310万円
- 「子育て世帯」に10万円支給、所得により追加で5万円支給
- 「図書館感染症対策向上事業」1341万円
- 学習スペースの個別ブース・LED照明化、洗面台の自動水洗化を実施

